

## 基盤共同研究 二神家・二神島の歴史・民俗研究

期間：2016年～

〔所員〕 前田禎彦 関口博巨

### 成果の概要

前田 禎彦

「共同研究 二神家・二神島の歴史・民俗研究」は、2008年度から2015年度までの間に実施された「共同研究 瀬戸内海の歴史民俗」の成果を継承して2016年度から始まった。当初は、1. 松山市粟井地区の二神家関連資料を調査し、中世二神家の活動の多面性を明らかにする、2. 近世二神家文書の整理・読解をさらに進め、近世二神家の活動を明らかにする、3. 「二神系譜研究会」の活動状況を調査・分析し、その社会的意義を明らかにする、の3点を目的に掲げたが、諸般の事情から常民研の二神家・二神島研究に重要な役割を果たしてきた「二神司朗家文書」の整理・保全の活動を中心に進められることになった。以下、2016年度以降の主要な活動についてまとめておきたい。

#### 1. 第21回常民文化研究講座「二神島 その歴史と民俗を訪ねて」の開催

2008年度～2015年度の「共同研究 瀬戸内海の歴史民俗」の総括として地元松山市で常民文化研究講座が開催された。共同研究の成果を中心に5本の研究報告と、地元の方々も加わったパネル



写真1 第21回常民文化研究講座「二神島 その歴史と民俗を訪ねて」(2017年12月9日)



写真2 講座での二神島の写真パネル展示 (2017年12月9日)



写真3 『油利島』二神新四郎種章が編んだ由利島にかんする記録集 『二神司朗家文書 近世・由利島編』 (2019年2月)



写真4 文書の仕分け・保全作業 (2018年3月)

ディスカッションが行われ、200名以上の多数の参加者を得た。研究講座の地方開催は、2010年度の遠野での開催以来、久々の出来事であった。その成果は『歴史と民俗』35 特集「二神島」(平凡社、2019年2月)として刊行された。

## 2. 「共同研究 瀬戸内海の歴史民俗」にともなう論文集・報告書の刊行

2016年度以降、引き続き「共同研究 瀬戸内海の歴史民俗」にともなう論文集・報告書として、『論集「瀬戸内海の歴史民俗」』(2016年11月)、『二神司朗家文書目録(四)近代・現代編』(2016年10月)、『島の写真帖 Vol.3』(2017年6月)、『二神島 葬送と墓の民俗』資料編(2017年8月)、『二神島 豊田造船所資料集』(2018年3月)、『島の写真帖 Vol.4』(2018年7月)、『二神司朗家文書 近世・由利島編』(2019年2月)などの刊行が相次いだ。

## 3. 「二神司朗家文書」の整理・保全活動

江戸時代に代々二神村庄屋を務めてきた二神家の文書は、1994年に常民研の所蔵となったが、その残置文書の整理・保全を2017年度から2019年度にかけて継続的に行った。このうち故二神司朗氏が残したスケッチ帖をもとに『島のスケッチ帖 二神司朗が見た二神島』(2020年3月)が刊行された。

二神島をめぐる共同研究は一段落終えつつあるが、今後も二神島関係者・「二神系譜研究会」の方々と連絡を取りながら、二神島の歴史・民俗の遺産を継承する役割を果たしていきたい。

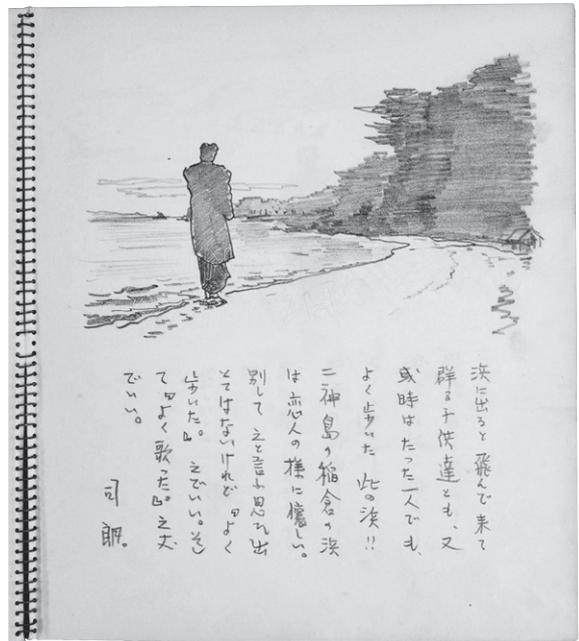


写真5 二神司朗家に残されていたスケッチブックに描かれた二神島の浜(二神司朗氏画) 『島のスケッチ帖 二神司朗が見た二神島』(2020年3月)